

目標	・豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現や制作の力を伸ばす。身近な材料のよさや美しさなどに興味をもち、それらに対する感覚を高める。	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前期	ぼくのわたしの似顔絵 ・顔の特徴をつかんで描くことができる。 ・ていねいに色をぬることができる。	きょうかしよびじゅつかん ・絵本の気に行ったところなど、感想を友だちとお互いに話し合いながら、作品のよさを味わうことができる。
	よく見て描こう ・ものの特徴をつかんで描くことができる。	
中期	くっつけくっつけ ・粘土のつけ足しによって、形が変化していくことを楽しみながらつくろうとする。	ねん土でお話 ・自分の作品をいろいろな角度から見直したり変形したりしようとする。
	心キラリ ・かき表したいことが伝わるように工夫して絵に表すことができる。	
後期	グルグルかくかく ・太い線、細い線、まっすぐな線など、楽しくいろいろな線を引き、表し方の楽しさなどを友だちに伝えることができる。	そのときの気持ちを大切に ・物語の空想の世界を楽しみ、好きな場面を絵に表すことができる。
	風パワー全開 ・仕組みの動きを試し、より楽しいものへと新たな発想を加え、表し方を工夫することができる。	
後期	だんボールのへんしん ・材料の特徴から、絵に表す、楽しい形をつくるなど、つくりたいものを思いくことができる。	広がれ生きものワールド ・自分の思いを効果的に表すために刷り方や材料を工夫して表すことができる。
	ふわふわゴーゴー ・ポリ袋の特徴をつかみ、自分の作りたいものを作ることができる。	
後期	きせつの中で ・材料を集め、特徴をいかして表すことができる。	これでかけるよ ・材料の感じを生かして発想し、夢のある絵にしようとし、材料にふさわしい貼り方を見つけ、工夫することができる。
		切って切ってトントントン ・釘打ちや接着について順序や方法などを考えながら作ることができる。 ・友だちの作品の発想の面白さやよさを見つけて話し合うことができる。

図画工作科の評価

・図画工作科では四つの観点で評価します。

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに興味をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。	手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに興味をもって見る。
・次のような方法で見えていきます。			
発表会 取り組む様子 作品 絵の具の使い方 アイデアスケッチ 展示方法			

おうちの方へ

豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めていきたいと思っております。身近な材料が必要な場合があります。ご家庭でのご協力よろしくお願ひします。作品を持ち帰りましたら、鑑賞し、工夫したことなどの話を聞いたり感想を言ってあげたりしてください。